

環境報告書

2018年度



活動期間

(2018年9月1日～2019年8月31日)

発行日：2019年9月1日

改訂日：2020年3月4日

有限会社 豊田衛生

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 有限会社豊田衛生
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役社長 豊田和人
- (3) 所在地 : 三重県亀山市阿野田町1870番地
- (4) 事業内容 : 1. 浄化槽維持管理・水処理施設維持管理・下水管渠保守清掃
清掃施設清掃・排水管清掃・貯水槽維持管理・土木工
管工事・浚渫工事・水道施設工事
2. 一般廃棄物収集運搬(委託・許可)
産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業
- (5) 資本金 : 20,000,000円
- (6) 沿革 :
- 昭和33年
豊田衛生社を創業
一般廃棄物収集・運搬許可(し尿)業務開始
- 平成10年
一般廃棄物収集・運搬委託(ごみ)業務開始(亀山)
- 平成14年
産業廃棄物収集・運搬業務新規許可(三重県)
一般廃棄物収集運搬許可(四日市)
- 平成16年
産業廃棄物収集・運搬業務新規許可(名古屋市)
特別管理産業廃棄物収集運搬許可(三重)
- 平成17年
環境対応バキューム車使用開始
- 平成19年
M-EMSステップ2認証取得
- 平成23年
新社屋竣工
- 平成24年
特定建設業(土木・管・しゅんせつ工事他)許可
- 平成26年
産業廃棄物収集・運搬業務新規許可(愛知県)
一般建設業(造園工事業)追加許可
- 平成30年
M-EMSステップ2W認証取得
- 令和元年度
産業廃棄物収集・運搬許可(愛知県)優良認定取得
特別管理産業廃棄物収集・運搬許可(三重県)優良認定取得

(7) 事業の規模

- ① 売上高 : 331,549,907円
- ② 組織人数 : 18名(内 パートタイマー3名、派遣社員0名を含む)
- ③ 敷地面積 :
 - ・本社事務所・車庫及び倉庫 敷地面積:391.09㎡ 延床面積:602.63㎡
 - ・積替え保管施設 無し

(8) 許認可一覧と許可品目

1) 産業廃棄物関係

許可の内容	有効期限/許可行政	許可品目
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 02403086230	有効期限: H29年7月19日 ～H34年7月18日 許可行政:三重県	(積替え・保管を除く) 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)、がれき類、家畜ふん尿、ばいじん ※ガラスくず等とは、「ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず」をいう 以上16種類
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 02300086230	有効期限: R1年12月24日 ～R8年11月24日 許可行政:愛知県	(積替え・保管を除く) 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物含む)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む) 以上12品目
特別管理産業廃棄物 収集運搬業 許可番号:02453086230	有効期限:R1年10月21日 ～R8年10月20日 許可行政:三重県	(積替え・保管を除く) 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ 以上3種類

2) 一般廃棄物関係 他

許認可の事業	市町村	許可番号	許可年月日	許可期限
一般廃棄物処理業(収集・運搬)	亀山市	亀山18第11号	2018年4月1日	2020年3月31日
一般廃棄物収集運搬業	四日市市	第219号	H30年4月1日	H32年3月31日

・積替え保管なし

(9)取扱い産業廃棄物

・廃棄物の収集運搬実績

収集運搬実績	単 位	2016年度	2017年度	2018年度
一般廃棄物	t	8,077.06	8,527.99	8219.79
産業廃棄物	t	219.08	342.47	352.43
特管産業廃棄物	t	なし	なし	なし

※特別管理産業廃棄物の許可はありますが、2016年～2018年度の実績はありません。

・運搬車両の種類と台数

車両形式	登録番号	最大積載量	登録種別
2tバキューム車	鈴鹿830 さ 38-00	1800kg	一般廃棄物
2tバキューム車	鈴鹿830 さ 28-00	1800kg	一般廃棄物
4tバキューム車	鈴鹿830 さ ・・-65	3600kg	一般廃棄物
10tバキューム車	鈴鹿800 は ・1-08	10700kg	一般廃棄物 産業廃棄物
パッカー車	鈴鹿830 さ 50-00	2000kg	産業廃棄物
パッカー車	鈴鹿830 さ 80-00	3150kg	産業廃棄物
パッカー車	鈴鹿830 さ 15-00	2000kg	一般廃棄物
パッカー車	鈴鹿830 さ 20-00	3150kg	一般廃棄物
4t強力吸引車	鈴鹿830 さ 70-00	2500kg	一般廃棄物 産業廃棄物 特別管理産業廃棄物
10t強力吸引車	鈴鹿800 は ・・-28	9350kg	一般廃棄物 産業廃棄物 特別管理産業廃棄物
ダンプ	鈴鹿430 さ 37-00	1850kg	一般廃棄物 産業廃棄物 特別管理産業廃棄物
ダンプ	鈴鹿400 さ 35-63	3000kg	一般廃棄物 産業廃棄物 特別管理産業廃棄物

・中間処理実績 なし

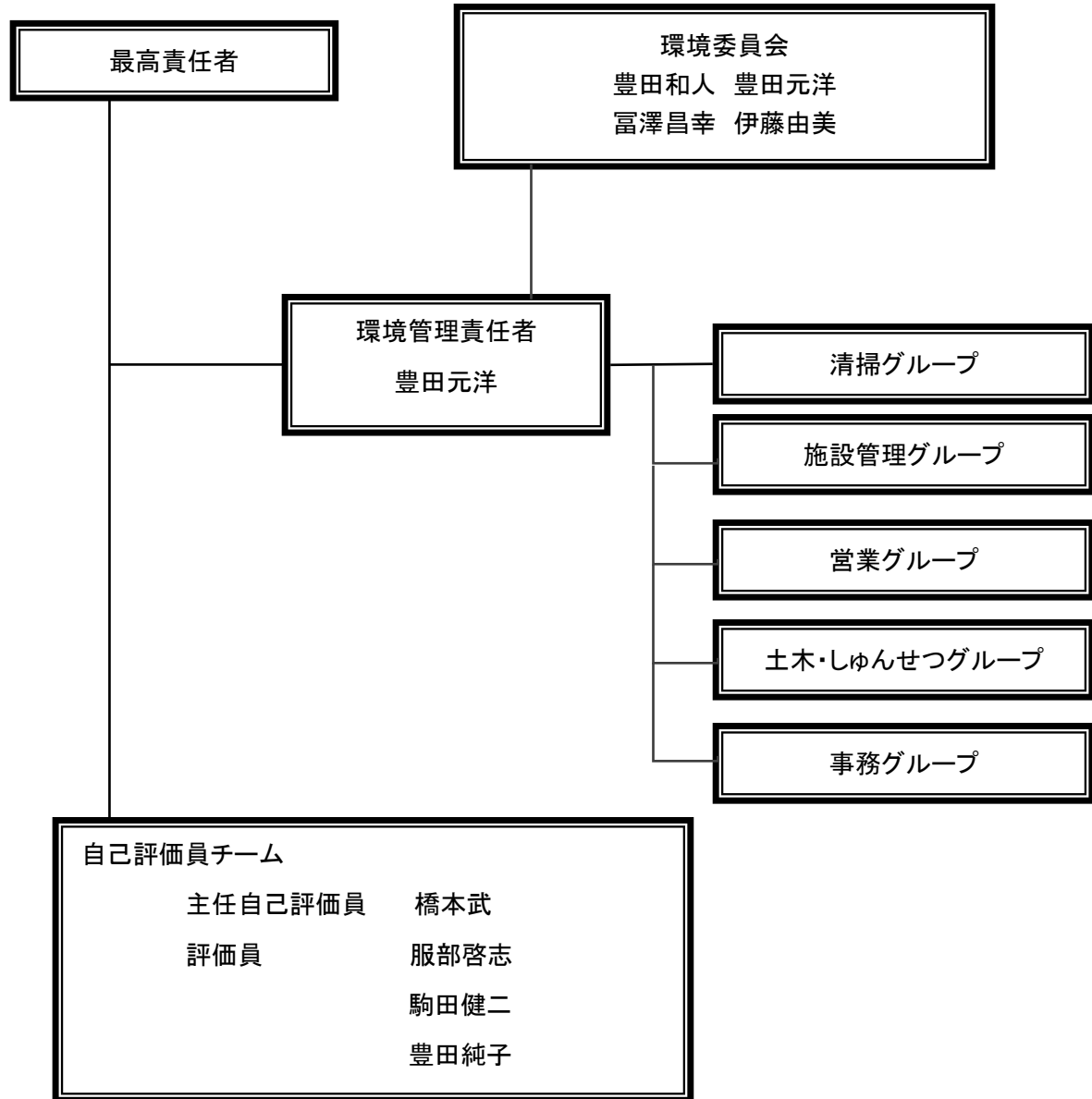
・処理工程図 収集運搬のみのため、処理工程図はなし

(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

(11) 環境活動の取り組み体制

環境マネジメント組織図



環境管理責任者： 豊田 元洋

担当者連絡先： 有限会社 豊田衛生

(TEL:0595-82-1738 FAX: 0595-82-0173)

2. 登録対象

(1)登録内容

M-EMS登録証:

初回登録日 :2017年4月1日

登録期限 :2020年3月31日

登録番号 :M-EMS2-0010

KES2-5-0010

(2) 登録範囲

上記登録組織全域における一般廃棄物収集・運搬業務(ごみ)、
浄化槽維持管理・施工、産業廃棄物収集・運搬業務、特別管理産業廃棄物収
集運搬、土木工事、しゅんせつ工事に関わる全ての事業活動

(3)対象事業所

本社・事務所

三重県亀山市阿野田町1870番地

3. 環境宣言

環 境 宣 言

基本理念

有限会社豊田衛生は、環境に係わる会社として地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減および環境保護に努力します。

方針

有限会社豊田衛生は一般廃棄物収集運搬、浄化槽維持管理・施工、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、土木工事、しゅんせつ工事に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。

なお、環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。

2. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。

3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとし

し
取り組めます。

- (1)自動車燃料使用量削減
- (2)コピー用紙削減
- (3)電力使用量削減
- (4)一般廃棄物の発生抑制
- (5)会社周辺の清掃等啓発活動

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。

5. 三重県および亀山市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定するとともに、定期的に見直し環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2006年9月1日

改定日 2017年2月27日

有限会社 豊田衛生
代表取締役 豊田 和人

4. 環境改善目標

4-1 3年間の環境改善目標と実績（2016年～2018年）

（基準年度：2015年）

4.環境改善目標							
4-1 3年間の環境改善目標と実績（2016年～2018年）							
（基準年度：2015年）							
NO	環境改善目標	単位	基準年度実績	目標値			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
				基準年度比維持	基準年度比1%向上	基準年度比2%向上	
1	自動車燃費2%向上	km/ℓ	4.0	目標	4.0	4.04	4.08
				実績	4.1	4.2	4.40
	軽油量	ℓ	33,351	目標	33,351	33,017	32,683
				実績	30,121	30,732	32,219
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	86,045	目標	86,045	85,183	84,322
				実績	77,712	80,518	83,125
	ガソリン量	ℓ	5,247	目標	5,247	5,194	5,142
				実績	5,127	5,696	5,165
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	12,173	目標	12,173	12,050	11,929
				実績	11,895	13,215	11,983
2	コピー用紙売上対比2%削減 (219.4枚/M¥) [売上原単位]	枚/M¥	223.9	目標	基準年度比維持 (223.9枚/M¥)	基準年度比1%減 (221.6枚/M¥)	基準年度比2%減 (219.4枚/M¥)
				実績	(222.3枚/M¥)	(241.2枚/M¥)	(196.8枚/M¥)
3	電力使用量売上対比2%削減 (基準年度比 48.4kWh/M¥) [売上原単位]	kWh/M¥	49.8	目標	基準年度比維持 (49.3kWh/M¥)	基準年度比1%減 (49.3kWh/M¥)	基準年度比2%減 (48.8kWh/M¥)
				実績	(50.6kWh/M¥)	(32.5kWh/M¥)	(26.5kWh/M¥)
	電気使用量	kWh	14,099	目標	14,099	13,958	13,817
				実績	14,422	9,843	8,791
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	7,007	目標	7,007	6,937	6,867	
			実績	7,168	4,892	3,974	
4	自社から出る廃棄物の分別 100%	%	100	目標	100(維持)	100(維持)	100(維持)
				実績	100(維持)	100(維持)	100(維持)
5	会社周辺の清掃活動 9回/年 (累計27回)	回	9	目標	9	9	9
				実績	9	(累計 18)	(累計 27)
	二酸化炭素排出量(合計)	kg-CO ₂ /年	105,225	目標	105,225	104,170	103,118
				実績	96,775	98,625	99,477
	二酸化炭素排出量(削減率)	kg-CO ₂ /年		目標	0	▲ 1,055	▲ 2,107
				実績	▲ 8,450	▲ 6,600	▲ 5,748
排出係数：電力 0.497kg-CO ₂ /kwh ガソリン 2.32kg-CO ₂ /L 軽油 2.58kg-CO ₂ /L							
出典：2016年(H26年)環境省より							

4-2 3年間の環境改善目標 (2019年～2021年)
(基準年度:2018年)

NO	環境改善目標	単位	基準年度 実績	目標値		
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	自動車燃費 2%向上	km/ℓ	4.40	基準年度比維持 4.40	基準年度比 1%向 上 4.44	基準年度比 2%向 上 4.49
	軽油量	ℓ	32,219	32,219	31,897	31,575
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	83,125	83,125	82,294	81,464
	二酸化炭素削減量	kg-CO ₂ /年	-	0	▲831	▲1,661
	ガソリン量	ℓ	5,165	5,165	5,113	5,062
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	11,983	11,983	11,862	11,744
	二酸化炭素削減量	kg-CO ₂ /年	-	0	▲121	▲239
2	コピー用紙売上対比 2%削減 (192.9 枚/百万円) [売上原単位]	枚/売上百万 円	196.8	基準年度比 維持 (196.8 枚/百 万円)	基準年度比 1%削減 (194.8 枚/百万 円)	基準年度比 2%削減 (192.9 枚/百万 円)
3	電力使用量売上対比 2%削減 (基準年度比 25.9kWh/ 百万円) [売上原単位]	kWh/売上百 万円	26.5	基準年度比 維持 (26.5kWh/百 万円)	基準年度比 1%削減 (26.2kWh /百万 円)	基準年度比 2%削減 (25.9kWh /百万 円)
	電気使用量	kWh	8,791	8,791	8,704	8,619
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	3,974	3,974	3,974	3,894
	二酸化炭素削減量	kg-CO ₂ /年	-	0	▲40	▲80
4	自社から出る廃棄物の 分別 100%	%	100	100(維持)	100(維持)	100(維持)
5	会社周辺の清掃活動 9回/年 (累計 27回)	回	9	9	9 (累計 18)	9 (累計 27)
二酸化炭素排出量 (合計)		kg-CO ₂ /年	99,082	99,082	98,090	97,102

排出係数: 電力0.452 kg-CO₂/kWh ガソリン2.32 kg-CO₂/L 軽油2.58 kg-CO₂/L
出典: 2018年(H30年)環境省より

ガソリン、二酸化炭素排出量(自動車燃費と電力の合計)、水使用量、化学物質使用量
産業廃棄物量及びグリーン購入(事務用エコ商品の調達)は管理項目として
把握し改善する

5. 環境改善目標と実績

2018年度環境活動実績

評価記号 A:良好(100%以上) B: やや不足(90~100%) C: 不適合(90%以下)

NO	環境改善目標	具体的方策	単位	目標値	実績値	評価
1	自動車燃費基準年度比維持		km/ℓ	4.08	4.40 (基準年度比 9%向上)	A
	軽油量	・作業時エアコンを入れずに作業する	ℓ	32,683	32,219	
	二酸化炭素排出量		kg-CO ₂ /年	84,322	83,125	
	二酸化炭素削減量		kg-CO ₂ /年	▲1723	▲2,920	
	ガソリン量	・作業時以外アイドリングストップ	ℓ	5,142	5,165	
	二酸化炭素排出量		kg-CO ₂ /年	11,929	11,983	
二酸化炭素削減量	kg-CO ₂ /年		▲244	▲190		
2	コピー用紙売上対比 基準年度比維持 (221.6 枚/百万円) [売上原単位]	・両面印刷、両面コピーをする ・使用済み用紙の裏面を利用する	枚/売上百万円	219.4	196.8	A
3	電力使用量基準年度比維持 (基準年度比 49.3kWh/百万円) [売上原単位]	・休憩時間の消灯(事務所) ・休憩室の不必要な電灯の消灯 ・エアコンの温度、運転の適正管理	kWh/売上百万円	48.8	26.5 (基準年度比 45%削減)	A
	電気使用量		kWh	13,817	8,791	
	二酸化炭素排出量		kg-CO ₂ /年	6,867	4,369	
	二酸化炭素削減量		kg-CO ₂ /年	▲140	▲2,638	
4	自社から出る廃棄物の分別 100%	・自社から出る廃棄物を分別 (金属類・ゴム・プラスチック)	%	100	100(維持)	A
5	会社周辺の清掃活動 9 回/年 (累計 27 回)	・草刈り ・周辺の清掃 ・ごみ拾い	回	9	9	A

二酸化炭素排出量(合計)
二酸化炭素排出量(削減率)

kg-CO ₂ /年	103,118	99,477
kg-CO ₂ /年		▲3.5%

排出係数: 電力0.497 kg-CO₂/kwh ガソリン2.32 kg-CO₂/L 軽油2.58 kg-CO₂/L
出典: 2016年(H26年)環境省より

管理項目の実績

No	管理項目	具体的施策	項目	単位	2017 実績値	2018 実績値
1	二酸化炭素排出量	自動車燃費、電力の目標と同じ	電力、軽油、 ガソリン	kg-CO ₂	98,625	99,477
2	水使用量	節水	水使用量	m ³	1,177	1,245
3	化学物質使用量 (尿石分解剤)	使用量削減	化学物質使用量	kg	13	28
4	産業廃棄物量	分別の指導	産業廃棄物量	t	336.93	352.43
5	事務用エコ商品調達	エコ商品の調査調達	調達個数	個	33	43
6	燃料使用量	自動車燃費の向上	軽油、ガソリン	ℓ	36,428	37,384
7	自社からの廃棄物	分別の徹底	自社の 産業廃棄物量	t	1.84	1.13

※実績値:2018年度環境改善計画書兼進捗管理書
(2018年9月 ~ 2019年8月)

5.1 具体的環境活動の評価

1. 環境改善目標

- (1) 自動車燃費(基準年度比)2%向上に対し、実績は10%向上で目標達成。作業時のエアコン使用停止、作業以外はアイドリングストップの実施を徹底したことにより基準年度実績より抑制できたと評価している。
- (2) コピー用紙売上対比(基準年度比)2%削減に対し、実績は12%減で目標達成。ミスプリントしないよう徹底した事と裏紙は必ず再利用することが目標達成理由。
- (3) 電力使用量売上対比(基準年度比)2%削減に対し、実績は47%減で大幅に達成。休憩時間の消灯、エアコンの設定温度の適性管理など徹底したことと、事務所3階の部屋を今年度は使用しなかったことが達成理由。
- (4) 自社からでる産業廃棄物の分別は、100%で目標達成。
産業廃棄物の分別は、責任者の日々の指導・徹底を実行してきた。
- (5) 会社周辺の清掃活動、従業員への清掃活動への意識改革が進んでいると評価している。

2. 管理項目

- (1) 二酸化炭素削減量は、基準年度比では▲5,748 kg-CO₂/年であったが二酸化炭素排出量では、基準年度比5.5%減であった。これからも引き続き社内の二酸化炭素排出抑制運動を続けていく。
- (2) 水使用量は、増加した(昨年度比+5.8%)。洗浄作業に伴う給水業務が多かった事からやむを得ない部分はあるが節水を呼び掛けていく。
- (3) 化学物質(尿石除去剤)の使用量は、使用する作業が多かったため、昨年度より増加となった。
- (4) 産業廃棄物量は昨年より取扱量は増えている。
- (5) 事務用品エコ商品調達は、昨年よりも増えている。購入時にグリーン商品であるかどうかを調べ事務グループで無理のない範囲で購入を行いました。
- (6) 自社発生廃棄物が昨年度より36%減となった。引き続き分別の指導を行っていく。

5.2 2019年度活動についての今後の課題

全ての項目において目標を達成した。引き続き、環境改善目標外の車両も燃費向上を意識するように周知していく。

水使用量に関しては昨年度より増加してしまった為、原因の追究と引き続き節水を行うよう徹底と工夫を行いたい。

化学物質使用量に関しては引き続き無駄な使用がないようにする。

産業廃棄物に関しては引き続き分別の指導を行い。同時に作業員が効率良く分別できるような環境を作りたい。

グリーン購入(事務用エコ商品調達)に関してはよく使用する消耗品を順次エコ商品に変更していく。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

7. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

7.1 全体評価

システムの構築は、一般的にスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。2019年度もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進する。

7.2 見直し評価

環境方針の変更の必要性については、変更せずそのまま継続する。前年度に活動期間を4月～3月への変更していく旨を謳っていたが環境管理担当者の変更等もあり期間の変更まで行う事が出来なかった。環境マネジメントシステムの活動期間を2019年度より4月～3月に変更できるように活動していく。

8. コミュニケーション

- ・社内研修を定期的に実施。

兼松エンジニアリングの担当者に来ていただき超高压洗浄車の使用方法及びメンテナンス方法の研修を実施した



- ・緊急時対応の車両移動訓練を実施

地震・台風等の自然災害時に備えて車両移動の訓練を行った。



以上